

平成29年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所管事項概要説明

- 1 平成29年三重県警察運営の重点目標について
 - ・ **資料1** 三重県警察の組織 1頁
 - ・ **資料2** 平成29年三重県警察運営の重点目標 2頁

- 2 平成29年度警察費当初予算及び主要事業について
 - ・ **資料3** 平成29年度警察費当初予算及び主要事業 3頁

- 3 犯罪情勢について
 - ・ **資料4** 犯罪情勢（平成29年3月末） 7頁

- 4 犯罪抑止対策について
 - ・ **資料5** 総合的な犯罪抑止対策 8頁

- 5 地域警察活動について
 - ・ **資料6** 地域警察活動 9頁

- 6 交通事故情勢と抑止対策について
 - ・ **資料7** 交通事故情勢と抑止対策 10頁

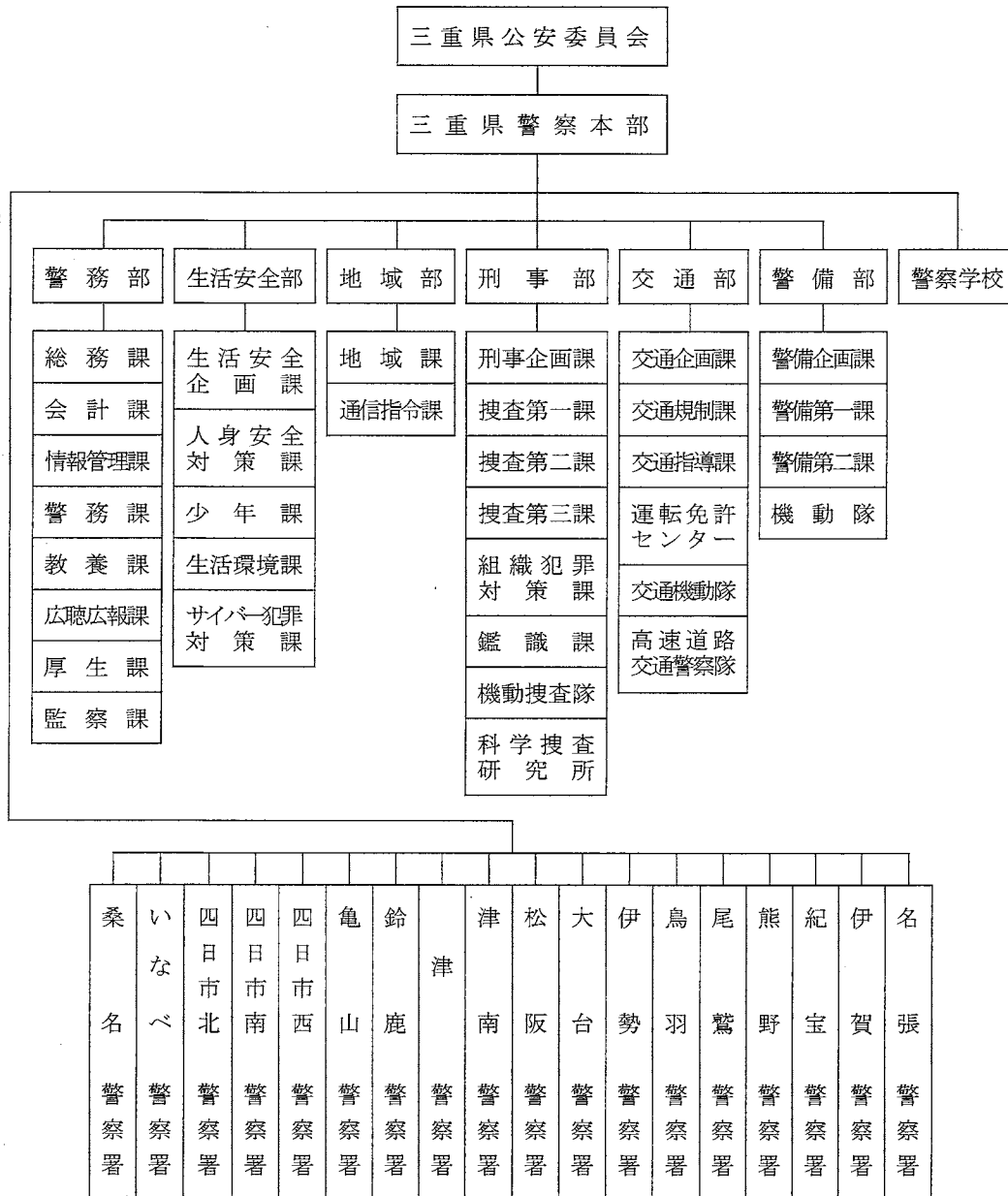
- 7 テロの未然防止と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進について
 - ・ **資料8** テロの未然防止対策及び大規模災害対策の推進 11頁

平成29年5月

警察本部

三重県警察の組織

平成29年4月1日現在



6部	33所属	1校	18警察署
			59交番 141駐在所

条例定員	警察官	3,079人
	一般職員	404人

平成29年三重県警察運営の重点目標

執務の基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現

～ 強く・正しく・温かく ～

執行の重点

- 総合的な犯罪抑止対策の推進
- 検挙の徹底に向けた犯罪捜査の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- 子供・女性を守る取組と少年健全育成対策の推進
- テロの未然防止と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進
- 犯罪被害者等支援の推進と相談等への迅速・確実な組織対応

平成29年度警察費当初予算及び主要事業

1 みえ県民カビジョン・第二次行動計画施策別予算額

【単位：千円】

施策・基本事業	H29当初(A)	H28当初(B)	増減(A-B)
112 防災・減災対策を進める体制づくり	24,561	152,362	▲ 127,801
11202 災害対策活動体制の充実・強化	1,938	83,299	▲ 81,361
11203 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	22,623	69,063	▲ 46,440
141 犯罪に強いまちづくり	4,742,623	4,891,623	▲ 149,000
14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化	107,557	1,193,596	▲ 1,086,039
14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化	396,554	839,444	▲ 442,890
14103 県民の安全を守る活動基盤の整備	4,238,512	2,858,583	1,379,929
142 交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	2,976,111	2,510,993	465,118
14201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,065,847	1,162,891	▲ 97,044
14202 飲酒運転0(ゼロ)をめざす教育・啓発および再発防止対策の推進	0	90	▲ 90
14203 安全で快適な交通環境の整備	1,728,674	1,086,322	642,352
14204 交通秩序の維持	181,590	261,690	▲ 80,100
行政運営7 公共事業推進の支援	804	718	86
40701 公共事業の適正な執行・管理	804	718	86
その他	30,863,193	31,534,675	▲ 671,482
警察費	38,607,292	39,090,371	▲ 483,079

2 特定政策課題枠

(1) 社会経済情勢等対応分

事業名	平成29年度当初予算額
サイバー犯罪対処能力向上事業 (安全かつ活力あるサイバー空間づくり)	2,467千円

(2) ポストサミット分

事業名	平成29年度当初予算額
テロ等対策事業(テロ対策パートナーシップ)	3,649千円

3 主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：防災・減災》</p> <p>〈施策名：(112)防災・減災対策を進める体制づくり〉</p> <p>1 災害警備対策事業 1,938千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：11202 災害対策活動体制の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>大規模災害発生時における各種警察活動を迅速かつ的確に実施するために必要な資機材等を整備します。</p>	警備第二課
<p>《政策名：暮らしの安全を守る》</p> <p>〈施策名：(141)犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>1 ストーカー・DV被害者等保護対策事業 579千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>ストーカー・配偶者暴力事案の認知件数が増加する中、被害者等の安全確保を最優先に対応するとともに、地域精神科医等と連携したストーカー加害者対策を推進し、被害の未然防止・拡大防止を図ります。</p> <p>2 特殊詐欺被害防止対策事業 16,603千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>特殊詐欺の被害が極めて深刻な情勢にある中、引き続き、県内全小学校と連携した高齢者等への注意喚起を行うとともに、国の交付金を活用し、オペレーターからの架電により県民に直接注意を呼び掛ける「三重県警察 三重の見守りコールセンター」を実施します。</p>	<p>人身安全対策課</p> <p>生活安全企画課</p>

<p>3 (一部新) サイバー犯罪対処能力向上事業 5,433千円</p> <p>【基本事業名: 14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>サイバー空間の脅威が深刻化する中、産学官の組織が連携し、それぞれが持つ情報通信技術に関する知見やサイバー犯罪の被害実態に関する情報などを集約し、より効果的な対策を講じることにより、安全で活力あるサイバー空間を実現させる取組を推進します。</p>	サイバー犯罪対策課
<p>4 テロ等対策事業 4,103千円</p> <p>【基本事業名: 14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>テロの脅威が依然として厳しい中、伊勢志摩サミットを契機に設立した官民が一体となってテロ対策を推進する「テロ対策パートナーシップ」を持続的に発展させ、テロが起こらないまちづくりを実現します。</p>	警備企画課
<p>5 警察署庁舎整備事業 1,798,987千円</p> <p>【基本事業名: 14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>警察を取り巻く環境変化に対応できる警察署庁舎整備に取り組むもので、移転建て替え整備を進めている四日市北警察署の庁舎棟建設工事等を実施します。</p>	会計課
<p><施策名:(142)交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり></p>	
<p>1 交通安全県民力向上事業 5,103千円</p> <p>【基本事業名: 14201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>関係機関・団体と連携した参加・体験・実践型の交通安全教育及び広報啓発活動を推進し、交通事故抑止の原動力となる、交通安全に対する県民力を一層高めます。</p>	交通企画課

2 交通安全施設整備事業	1,019,345千円	交通規制課
【基本事業名：14203 安全で快適な交通環境の整備】		
(第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)		
老朽化した信号制御機や摩耗した横断歩道等について、緊急性や優先度を勘案しながら、計画的な更新・塗り替えを推進します。		
3 地域交通安全活動推進事業	1,768千円	交通企画課
【基本事業名：14204 交通秩序の維持】		
(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)		
交通安全諸活動のリーダーとして活躍する「地域交通安全活動推進委員」の活動を促進し、地域における交通モラルの向上を図ります。		

犯罪情勢（平成29年3月末）

1 刑法犯及び重要犯罪・重要窃盗犯

・刑法犯

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
認知件数(件)	21,493	19,726	17,550	15,178	14,112	3,152	-44
検挙件数(件)	5,471	6,048	5,395	4,865	4,557	1,296	+333
検挙人員(人)	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	516	+9
検挙率(%)	25.5	30.7	30.7	32.1	32.3	41.1	+11.0P

・重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
認知件数(件)	133	131	115	91	98	24	-3
検挙件数(件)	89	80	86	74	95	21	-5
検挙人員(人)	80	58	90	60	64	15	-3
検挙率(%)	66.9	61.1	74.8	81.3	96.9	87.5	-8.8P

・重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすり)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
認知件数(件)	2,529	2,687	2,342	2,085	1,947	438	+15
検挙件数(件)	1,107	1,308	1,381	1,287	1,068	321	+99
検挙人員(人)	207	199	174	130	146	25	-9
検挙率(%)	43.8	48.7	59.0	61.7	54.9	73.3	+20.8P

- 平成29年3月末現在の刑法犯認知件数は3,152件(前年同期比-44件)で、減少傾向を維持
- 平成29年3月末現在の重要犯罪検挙率は、全国第23位
- 平成29年3月末現在の重要窃盗犯検挙率は、全国第17位

2 特殊詐欺

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
認知件数(件)	73	107	103	126	164	43	+9
被害額(万円)	48,350	57,880	63,140	59,280	51,960	7,390	-6,620
検挙件数(件)	27	34	27	32	18	4	±0
検挙人員(人)	6	14	10	15	17	2	±0

- 認知件数は増加傾向、被害額は減少傾向
- 平成29年3月末現在、認知件数(前年同期比+9件)は増加し、被害額(前年同期比-約6,620万円)は減少

3 暴力団犯罪

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
暴力団勢力(人)	780	770	700	650	460	-	-
検挙件数(件)	463	287	440	576	225	91	+41
刑法犯	362	193	352	476	139	80	+50
特別法犯	101	94	88	100	86	11	-9
検挙人員(人)	216	181	182	167	151	30	±0
刑法犯	163	125	129	107	108	23	+2
特別法犯	53	56	53	60	43	7	-2

- 暴力団勢力は減少傾向
- 平成29年3月末現在、検挙件数(前年同期比+41件)は増加、検挙人員(前年同期比±0人)は増減なし

総合的な犯罪抑止対策について

1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進

- 犯罪発生実態の多角的な分析とその結果を踏まえた犯罪抑止計画の策定、同計画に基づく戦略的な犯罪抑止対策の推進
- 犯罪多発地域・時間帯における警ら、駐留警戒など街頭活動の強化
- 地域住民等への的確な犯罪情報・地域安全情報の提供

＜重点犯罪の認知状況＞

	空き巣	忍込み	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	ひったくり	強わいせつ制	オートバイ盗	自転車盗	特殊詐欺
H24年	729	224	458	1,887	1,086	80	57	845	4,363	73
H25年	838	216	550	1,616	937	51	66	888	3,810	107
H26年	615	262	425	1,336	569	32	54	662	3,450	103
H27年	660	265	288	1,089	525	18	43	451	2,812	126
H28年	473	260	370	926	644	21	48	326	2,449	164
3月末	135	76	68	222	203	6	13	89	493	34
H29年3月末	109	51	69	284	177	2	11	46	417	43
前年同期比	-26	-25	1	62	-26	-4	-2	-43	-76	9

2 官民一体となった犯罪抑止対策の推進

- 防犯ボランティア活動に対する支援の充実
- 企業等による防犯CSR活動の促進

注：CSRは、Corporate Social Responsibilityの略で、一般に企業の社会的責任と訳され、法令遵守、環境保護、地域貢献等、純粋に財務的な活動以外の分野において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的取組をいう。

- 街頭防犯カメラ等の犯罪抑止インフラの整備促進

＜防犯ボランティア団体の結成状況＞

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	前年	
										3月末	3月末	同期比	
団体数	345	485	528	569	574	582	590	609	610	629	610	630	20
活動人員	21,480	30,073	32,475	34,199	34,254	35,113	35,128	35,353	36,330	36,559	36,316	36,557	241

注：防犯ボランティア団体…平均月1回以上の活動実績があり、かつ、構成員が5人以上の団体

3 子供・女性を犯罪等から守る対策の推進

- 通学路や登下校時間帯等に重点を置いた見守り・パトロール活動の強化
- 参加・体験型の防犯教室、不審者侵入対応訓練、護身術教室等の開催
- 前兆事案等に対する先制・予防的活動の強化

＜不審者情報の認知状況＞

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	前年同期比	
						3月末	3月末	
子供	311	460	550	496	434	95	115	20
女性	393	550	658	516	513	112	77	-35
合計	704	1,010	1,208	1,012	947	207	192	-15

注：子供…中学生以下の男女、女性…子供以外の女性全て

4 特殊詐欺抑止対策の推進

- 県民の警戒心・抵抗力を向上させる防犯指導・広報啓発の推進
- 被害に遭わないための環境整備の促進
- 金融機関等における水際対策の推進

＜特殊詐欺の認知状況＞

	振り込み詐欺								振り込み詐欺以外の特殊詐欺								合計						
	オレオレ		架空請求		融資保証金		還付金等		計		金融商品等取引名目		異性交際あつせん名目		ギャンブル必勝法情報提供名目			その他		計			
	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)		件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)
H24年	9	3,090	9	1,730	5	6,160	16	1,210	39	12,190	34	36,160	0	0	0	0	0	0	0	34	36,160	73	48,350
H25年	18	12,710	10	2,220	5	930	32	2,420	65	18,280	34	32,780	0	0	1	420	7	6,390	42	39,600	107	57,880	
H26年	21	5,920	39	17,960	8	1,090	3	320	71	25,290	18	27,480	1	850	3	640	10	8,880	32	37,860	103	63,140	
H27年	24	7,990	55	23,250	7	1,550	14	1,340	100	34,130	21	22,060	1	570	4	2,530	0	0	26	25,150	126	59,280	
H28年	36	11,610	51	17,960	8	900	51	4,560	146	35,020	15	15,890	0	0	2	930	1	120	18	16,940	164	51,960	
3月末	8	2,260	14	6,550	1	100	3	230	26	9,150	8	4,860	0	0	0	0	0	0	8	4,860	34	14,010	
H29年3月末	10	1,350	19	3,430	4	190	6	550	39	5,520	0	0	0	0	3	1,270	1	600	4	1,870	43	7,390	
前年同期比	2	-910	5	-3,120	3	80	3	320	13	-3,630	-8	-4,860	0	0	3	1,270	1	600	-4	-2,990	9	-6,620	

地 域 警 察 活 動

1 交番・駐在所の活動

交番、駐在所では、パトロールや巡回連絡等の様々な活動を通じて、地域住民の意見・要望等に応えるべく、管轄する地域の実態を把握している。

〈交番・駐在所等設置状況 (平成29年4月1日現在)〉

	署所在地	幹部交番	交番	駐在所	警備派出所	検問所
設置数	4	5	54	141	7	3

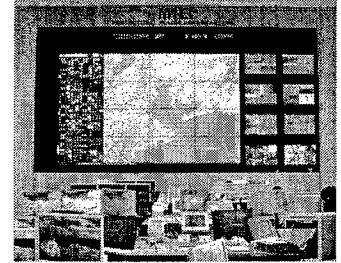
2 通信指令

110番通報に迅速かつ的確に対応するため、指令室を設置している。

〈110番通報有効受案件数 (平成24～29年3月末)〉

【 指 令 室 】

区 分	年 次							前 年 同期比
	24	25	26	27	28	29.3		
通報件数 (件)	106,958	106,547	109,156	110,560	106,862	24,697	-2,477	
携帯電話 (件)	79,544	78,092	81,858	84,717	82,869	19,130	-2,120	
そ の 他 (件)	27,414	28,455	27,298	25,843	23,993	5567	-357	
携帯電話構成比 (%)	74.4	73.3	75.0	76.6	77.5	77.5	—	



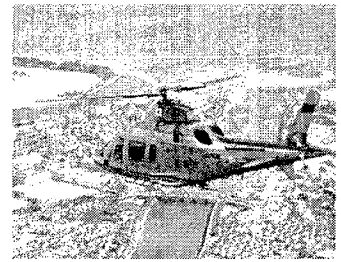
3 パトカー、警察用船舶及び警察用航空機の活用

パトカー等を活用し、パトロールや事件・事故発生時の情報収集等を行っている。

4 水難・山岳遭難発生状況 (平成24～29年3月末)

【 航 空 「い せ」 】

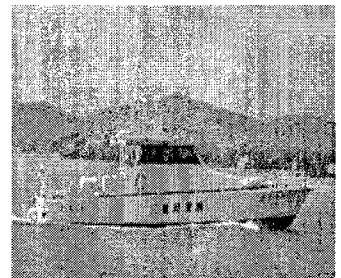
区 分	年 次							前 年 同期比
	24	25	26	27	28	29.3		
水 発 生 件 数	31	26	28	35	29	1	-2	
難 水 難 者 数	32	27	35	36	33	1	-2	
山 発 生 件 数	66	51	69	61	57	8	-5	
岳 遭 難 者 数	89	86	87	80	73	13	-6	



5 雑踏警備実施状況 (平成24～28年)

【 警 備 艇 「あ ら し ま」 】

区 分	年 次	延 べ 出 動 警 察 官 数				
		24	25	26	27	28
祭礼、花火等施設外		4,691	6,543	4,790	4,146	3,585
興行場等施設内		585	831	317	408	538
公 営 競 技 場 等		1,061	1,587	1,602	1,967	1,383
合 計		6,337	8,961	6,709	6,521	5,506



交通事故情勢と抑止対策

1 交通事故情勢

(1) 交通事故発生状況

	H24	H25	H26	H27	H28	H29.3	前年同期比
人身事故件数	10,155	9,804	8,100	7,169	6,038	1,432	-164
死亡事故件数	93	90	109	86	98	17	-6
死者数	95	94	112	87	100	17	-8
負傷者数	13,287	12,885	10,717	9,517	8,158	1,883	-275

(2) 平成28年中の交通死亡事故の特徴

- 高齢死者が全体の5割以上を占める ～ 52人(52.0%)
- 交通弱者(高齢・高齢者)の死者が全体の約5割を占める ～ 49人(49.0%)
- 歩行者の道路横断中が7割以上を占める
～ 歩行者と車両の事故31件中、22件(71.0%)
- シートベルト非着用者が約4割を占める
～ 四輪乗車中死者34人中、13人(38.2%)
- 飲酒運転の根絶に至っていない
～ 原付以上第1当事者の事故86件中、1件(1.2%)

2 抑止対策

(1) 重点4Sプラスワン対策

- | | | |
|-----------------------|----------------------|--------|
| ○ 高齢者の交通事故防止対策 | シルバー
(Silver) | } 重点4S |
| ○ シートベルト着用促進対策 | シートベルト
(SeatBelt) | |
| ○ 飲酒運転根絶対策 | サケ
(Sake) | |
| ○ 速度抑制対策 | スピード
(Speed) | |
| ◎ 歩行者の交通事故防止対策 | | プラスワン |
| ・ 歩行者にやさしい三重づくり作戦 | | |
| ・ 交通安全“見える・見せる”キャンペーン | | |

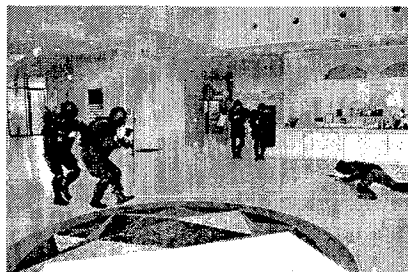
(2) 日を設定した対策

- 自転車安全対策強化日「セーフティ・バイシクル・デー (S・Bデー)」
毎月第1月曜日
- 高齢者の交通安全の日「セーフティ・シルバー・デー (S・Sデー)」
毎月21日

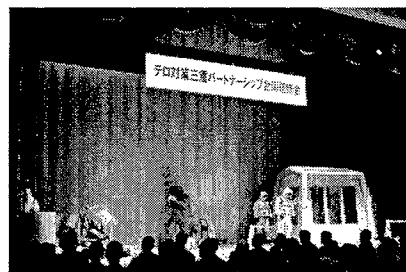
テロの未然防止対策及び大規模災害対策の推進

1 テロの未然防止対策

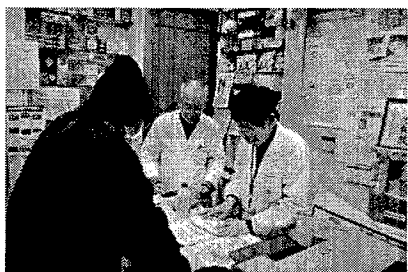
テロ対策パートナーシップを中心とした官民一体によるテロの未然防止に向けた取組の推進



テロ対策合同訓練



テロ対策に関する研修会



不審な購入者の来店を想定した訓練



広報啓発活動の推進

2 大規模災害対策の推進

大規模災害発生時における、県民の安全を確保する対処能力の向上に向けた訓練等の推進



警察本部における図上訓練



警察署における災害警備訓練



平成28年度広域緊急援助隊合同訓練



平成28年度三重県・津市総合防災訓練